

令和4年度 当初予算のポイント

未来を拓く ^{ひら} 文教住宅都市・西宮
～ 憩い、学び、つながりのある美しいまち～

西宮市

目 次

令和4年度 西宮市当初予算の全体像 . . . 2

1. 住環境・自然環境 . . . 3

- 旧芦原小学校グラウンド再整備事業（2期）
- 公園リニューアル事業
- 公園新設整備事業
- 西宮浜総合公園整備事業

2. 子供・教育 . . . 5

- 民間保育所等整備事業
- 連携公立幼稚園事業
- 保育士確保事業
- 公立保育所改築等整備事業
- 保育所入所業務のICT化
- 子育て世帯訪問支援事業
- 生活困窮世帯の子供の生活・学習支援事業
- 子育て家庭ショートステイ事業
- 不登校児童生徒のための教育支援センター事業
- 学校施設の長寿命化改修事業
- 学校施設のトイレ環境改善事業
- 学校体育館環境改善事業
- 安井小学校教育環境整備事業
- 瓦木中学校教育環境整備事業
- 留守家庭児童対策施設整備事業
- 放課後キッズルーム事業

3. 福祉・健康・共生 . . . 12

- 西宮市共生型地域交流拠点運営等補助金交付事業
- 統合新病院整備事業
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（フレイル対策）

4. 都市の魅力・産業 . . . 14

- 市民力・地域力向上につながる生涯学習の推進
- 西宮市立図書館パワーアップ事業
- 大谷記念美術館管理運営補助事業
- アスリート先生派遣事業
- 西宮市起業家支援センター運営補助事業

5. 環境・都市基盤、安全・安心 . . . 17

- 地球温暖化対策事業
- 公共施設照明設備LED化事業
- 東部総合処理センター破砕選別施設整備事業
- 救急ワークステーション整備事業
- 白水峡公園墓地建設事業

6. 政策推進 . . . 19

- （仮称）越木岩センター整備事業
- 未来づくりパートナー事業
- 窓口等キャッシュレス化推進事業

令和4年度 西宮市当初予算の全体像

令和4年度当初予算規模は、下表のとおりです。新型コロナウイルス感染症への対応のほか、学校施設の改築・改修に係る経費や、子育て支援などの社会保障関係経費などが増となっています。一般会計は6年連続の増となり、阪神・淡路大震災直後の平成7年度を除くと過去最大の規模となっています。

■ 各会計予算規模

(単位：千円)

	R4	R3	増減額	増減率
一般会計	195,828,360	193,856,204	1,972,156	1.0%
特別会計	90,410,851	90,885,142	▲ 474,291	▲ 0.5%
企業会計	45,987,477	47,689,220	▲ 1,701,743	▲ 3.6%
計	332,226,688	332,430,566	▲ 203,878	▲ 0.1%

<当初予算のポイント>

「文教住宅都市・西宮」の魅力を未来へと引き継ぐため、次のことに重点配分しました

- ・新型コロナウイルス感染症対策の実施
- ・学校施設の改築・改修など公共施設の老朽化対策
- ・待機児童対策をはじめとした喫緊の課題への対応

1. 住環境・自然環境

■ 旧芦原小学校グラウンド再整備事業（2期）

継続

R4予算

49,940 千円

旧芦原小学校の跡地活用について、平成30年度までの1期工事では旧校舎（本館）の解体、芝生広場等の整備、若竹通りに面した歩道の拡幅等を行った。

残る2期工事では、市役所本庁舎周辺整備に伴う総合教育センター移転後の旧校舎（東館）を解体し、広場スペースを拡張するとともに、今津西線に面した歩行者スペースの拡幅と修景緑化を図る。

・令和4年度：整備工事



再整備後のグラウンドイメージ

■ 公園リニューアル事業

継続

R4予算

69,025 千円

整備後30年以上を経過した都市計画公園は、施設の老朽化問題に加え、バリアフリー対策に課題がある。

本事業では、子供の遊び場としての機能、シニア等多様な世代利用に対応するバリアフリー化や健康増進機能、また防災・減災機能等について複合的に充実・向上を図るため、市民（公園利用者）の意見等を踏まえ公園全体の再整備を行う。

・令和4年度：ハツ松公園リニューアル工事等



遊具



水飲み場と手押しポンプ

1. 住環境・自然環境

■ 公園新設整備事業

新規

R4予算

3,277 千円

市民一人当たりの歩いて行ける身近な公園面積が特に小さな小学校区において、公園を新設する。整備に当たっては、子供の遊び場としての機能、シニア等多様な世代利用に対応するバリアフリー化や健康増進機能、また防災・減災機能等の要素を取り入れた公園となるよう計画する。

・令和4年度：(仮称)阪神国道駅前公園(測量、基本設計)



公園整備予定地 位置図

■ 西宮浜総合公園整備事業

継続

R4予算

184,092 千円

平成2年に都市計画決定した西宮浜総合公園について、「海のpromenade公園」、「にぎわいのレクリエーション公園」、「安全・安心の公園」、「市民協働の公園」を基本理念とした整備を進める。

・令和4年度：人工芝広場整備工事、人工芝設備リース開始等

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

・西宮浜総合公園人工芝広場人工芝設備賃借料 / 44,717千円 / R5-R9



遊びの広場



みやっこキッズダム

2. 子供・教育

■ 民間保育所等整備事業

継続

R4予算

936,957 千円

待機児童の解消に向けて、保育所・幼保連携型認定こども園等を整備する社会福祉法人等に対し、施設整備費を補助する。また、定員拡大や耐震化を目的として保育所の建替え等を実施する法人に対し、整備費用を補助する。



令和4年4月開園予定の民間保育所イメージ

■ 連携公立幼稚園事業

継続

R4予算

55,260 千円

待機児童対策として、公立幼稚園で特区小規模保育事業（1～3歳児対象）の卒園児を受け入れ、新たに預かり保育（長時間保育）を実施する。
・令和4年度：夙川幼稚園、高木幼稚園で4歳児の受入開始



高木幼稚園の園庭で思いきり走る園児達

2. 子供・教育

■ 保育士確保事業

拡 充

R 4 予算

366,462 千円

保育士不足への対応は全国的な課題であり、本市においても保育士の安定的な確保は重要な課題となっている。

本事業では、保育士用の宿舍借上げ費用に対する補助、奨学金返済費用及び資格取得費用の一部補助、保育の周辺業務に係る人件費補助のほか、令和3年2月から潜在保育士の復職支援を主な目的とした保育士・保育所支援センターの運営を開始するなど、民間保育所等における保育士確保のための支援を行っている。

・令和4年度：西宮市内の民間保育所等に就職した保育士を対象とした一時金の支給事業を実施



就職フェアの様子

■ 公立保育所改築等整備事業

継 続

R 4 予算

367,947 千円

公立保育所等について、耐震診断の結果を踏まえ、該当する施設に対して順次施設の移転、建替え、改修等を実施することにより、入所児童の安全確保を図る。

・令和4年度：津門保育所・津門児童館現地建替工事着手、上之町保育所耐震改修・大規模改修設計

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

- ・公立保育所改築等整備事業（上之町保育所） / 233,261千円 / R5-R6
- ・公立保育所仮設園舎賃借料（上之町保育所） / 100,045千円 / R5-R6
- ・公立保育所改築等整備事業（津門保育所・津門児童館） / 19,583千円 / R5



建替え後の津門保育所・津門児童館イメージ

2. 子供・教育

■ 保育所入所業務のICT化

新規

R4予算

11,106 千円

保育所の入所申請や台帳の電子化など業務全般のICT化を実施することにより、利用者の利便性の向上及び業務の効率化を図る。

・令和4年度：保育所入所申請における電子申請の導入、申請書類の電子化

■ 生活困窮世帯の子供の生活・学習支援事業

拡充

R4予算

36,995 千円

本事業では、ひとり親家庭など生活困窮世帯の中学3年生及び義務教育学校9年生を対象に無料の学習支援を実施してきたが、コロナ禍で塾費用を捻出することが難しい困窮世帯に対してより効果的な支援とするため、令和4年度より対象学年を中学1～3年生及び義務教育学校7～9年生に拡大し、学習習慣の習得や高校進学への支援に取り組む。

※新型コロナウイルス感染症対策基金活用事業

■ 子育て世帯訪問支援事業

新規

R4予算

2,963 千円

コロナ禍において、家事・育児等に対して不安・負担を抱えながら子育て等を行う家庭が増加しており、子供の養育だけでなく、保護者自身が支援を必要とする家庭が増加している。

こうした需要に対応するため、家事・育児等に対して不安・負担を抱えた子育て家庭、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅をヘルパーが訪問し、不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。

※新型コロナウイルス感染症対策基金活用事業

■ 子育て家庭ショートステイ事業

拡充

R4予算

5,651 千円

保護者が病気、出産、育児疲れなどの理由で児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童養護施設等で児童を預かる子育て家庭ショートステイ事業において、里親の居宅を新たな預かり先として追加するとともに、利用日数の上限を増やすことで、レスパイト目的で定期的に利用できるようにするなど市民が利用しやすい制度とし、コロナ禍で育児負担が増えている家庭における虐待の未然防止に取り組む。

※新型コロナウイルス感染症対策基金活用事業

2. 子供・教育

■ 不登校児童生徒のための教育支援センター事業

拡 充

R 4 予算

57,794 千円

本市では、あすなる学級（不登校児童生徒支援施設）を設置し、市立小・中・義務教育学校に在籍する不登校の児童生徒を対象に、社会的自立を目指して学習活動等を行っている。

近年のあすなる学級への入級のニーズの高まりに対応するため、休園した幼稚園施設を利用した教育支援センターの設置や、公民館を活用したサテライト型のあすなる教室の開設に取り組み、希望する児童生徒が誰でも通級しやすくなるよう支援の充実を図る。

・令和4年度：浜脇地区、上ヶ原地区において新たにセンターを開設

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

・あすなる学級かわらぎ機械警備業務 / 432千円 / R5-R6



あすなる学級の様子

■ 学校施設の長寿命化改修事業

継 続

R 4 予算

2,588,916 千円

本市の学校施設の多くが築30年以上を経過している。効率的・効果的な予防保全による長寿命化を計画的に推進し、より良い教育環境を確保するとともに、予算の平準化とトータルコストの縮減を図るため、平成30年度に「西宮市学校施設長寿命化計画」を策定した。

本事業では、同計画に基づき、教育環境の改善と機能の向上を目的とした、外壁改修、屋上防水、空調設備改修、トイレ改修等を行う。

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

・学校施設改修設計業務 / 75,779千円 / R5

・学校施設長寿命化改修事業（段上小学校） / 1,010,579千円 / R5

・学校施設長寿命化改修事業（甲陽園小学校） / 1,884,666千円 / R5-R6

・甲陽園小学校仮設校舎賃借料 / 118,484千円 / R5-R6

・甲陽園小学校仮設校舎賃借料 / 228,846千円 / R5-R10



改修後の体育館

2. 子供・教育

■ 学校施設のトイレ環境改善事業

継続

R4予算

102,128 千円

本市では「西宮市学校施設長寿命化計画」に基づく長寿命化改修工事に合わせてトイレの全面改修を進めているが、同計画による改修だけでは、いわゆる学校トイレの5K（臭い、汚い、暗い、怖い、壊れている）の課題を長期にわたり抱えたままとなる。

本事業では、今後15年程度改修計画のない築40年以上のトイレから部分改修及び洋式便器化を簡易的に行い、新型コロナウイルス感染症対策にも資するよう環境改善を推進する。



改修後のトイレ

■ 学校体育館環境改善事業

拡充

R4予算

409,846 千円

熱中症対策など教育環境の改善、避難所としての防災機能強化、地域スポーツの利用促進を目的に、全ての市立学校体育館に順次空調設備を整備する。中学校体育館への空調整備については、令和2年度末に完了。本事業では、令和4年度より小学校・高等学校体育館への空調整備を行うとともに、設置後の空調設備の維持管理を行う。

・令和4年度：小学校体育館空調整備設計・工事



中学校に設置した体育館空調

2. 子供・教育

■ 安井小学校教育環境整備事業

継続

R4予算

3,056,147 千円

昭和30年代に校舎が建築された安井小学校は、施設の老朽化が進むとともに、教室不足や運動場の面積が不十分である等、優先的に整備すべき学校と位置付けている。

本事業では、同校の老朽校舎の解消と良好な教育環境を整備するため、校舎の増改築を行う。令和3年度から校舎改築工事に着手し、令和5年度から新校舎が稼働する予定である。

・令和4年度：校舎改築工事竣工



安井小学校校舎改築イメージ

■ 瓦木中学校教育環境整備事業

継続

R4予算

622,427 千円

昭和30年代に校舎が建築された瓦木中学校は、施設の老朽化が進むとともに、教室不足やバリアフリーが十分でない等課題が多く、優先的に整備すべき学校と位置付けている。

本事業では、同校の老朽校舎の解消と良好な教育環境を整備するため、校舎の増改築及び大規模改修を行う。令和4年度から校舎改築等工事に着手し、令和6年度中に新校舎が稼働する予定である。

・令和4年度：校舎改築等工事着工、既存校舎解体工事

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

・瓦木中学校教育環境整備事業（工事監理業務） / 82,280千円 / R5-R7

・瓦木中学校教育環境整備事業（校舎改築工事） / 3,741,852千円 / R5-R7



瓦木中学校現況

2. 子供・教育

■ 留守家庭児童対策施設整備事業

継続

R4予算

764,136 千円

共働き世帯の増加等により留守家庭児童育成センターの利用ニーズは高まり続けており、待機児童の発生や高学年児童の受入れ要望もある。

本事業では、待機児童の解消や小学4年生の受入れ、環境整備などを図るため、施設の整備、学校教室の改修等を実施する。

・令和4年度：上甲子園留守家庭児童育成センターほか3か所（設計等）、安井留守家庭児童育成センターほか3か所（新築等工事）、名塩留守家庭児童育成センターほか1か所（教室改修）、神原留守家庭児童育成センターほか1か所（新規リース）等を実施

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

・留守家庭児童対策施設整備事業（上甲子園留守家庭児童育成センター） / 160,818千円 / R5



整備後のセンター室内

■ 放課後キッズルーム事業

継続

R4予算

183,317 千円

本市の子育てアンケート結果では「安全・安心な遊び場の充実」を望む意見が突出しているなど、子供たちの遊び場の整備が求められている。また保育需要の高まりから留守家庭児童育成センターの待機児童問題も課題となっている。

本事業は、放課後の小学校の運動場や教室等を活用し、自由で主体的な遊びや学習を通して子供の育ちを支援する。令和元年度からは、留守家庭児童育成センターの待機児童対策にもつながるよう、実施時間を拡大するなどした「委託型」を実施している。

なお、令和4年度より、事業名を「子供の居場所づくり事業」から「放課後キッズルーム事業」に変更する。

・令和4年度：26校区で実施（うち委託型は6校）

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

・放課後キッズルーム事業 / 77,991千円 / R5



放課後キッズルームの様子

3. 福祉・健康・共生

■ 西宮市共生型地域交流拠点運営等補助金交付事業

継続

R4予算

45,000 千円

近年、少子高齢化や核家族化の進展により高齢世帯・単身高齢者が増加していることや、雇用環境・ライフスタイルの多様化などもあり、地域コミュニティの希薄化が進んでいる。このような社会構造の変化に伴い、8050問題や引きこもりといった地域住民の社会的孤立が大きな課題となっていることから、地域の誰もが集うことのできる常設の共生型地域交流拠点を市内各地域に設置することで、多世代の住民が交流できる場、また地域福祉活動に参画できる場づくりを推進する。

・令和4年度：8か所（うち、新規開設2か所）



地域交流拠点の様子

■ 統合新病院整備事業

継続

R4予算

11,254 千円

救急医療や小児・周産期医療の充実、感染症対応機能の強化、大規模災害時の医療提供など、本市の医療環境の向上や医療課題の解消を図るため、市立中央病院と県立西宮病院の統合再編を行う。統合新病院は、アサヒビル西宮工場跡地に整備し、令和7年度に開院予定。

・令和4年度：建設工事着工（県）

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

・統合新病院建設費負担金 / 3,852,801千円 / R5-R37



統合新病院完成イメージ

3. 福祉・健康・共生

■ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（フレイル対策）

新規

R4予算

23,771 千円

高齢者の健康増進を図り、できる限り健やかに過ごせる持続可能な社会とするため、高齢者一人ひとりに対して、きめ細やかな保健事業と介護予防を実施することが重要な課題となっている。

「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を一部改正する法律」に、75歳以上の高齢者に対する保健事業と介護保険の地域支援事業、国民健康保険の保健事業を全市町村において令和6年度までに一体的に実施する旨が規定された。

これまで各課で実施してきた事業を一体的に推進し、「健康寿命の延伸」、「介護給付費削減」、「医療費削減」を目指す。

・令和4年度：ハイリスクアプローチ（個別）とポピュレーションアプローチ（集団）を日常生活圏域（15圏域）ごとに実施



4. 都市の魅力・産業

■ 市民力・地域力向上につながる生涯学習の推進

継続

R4予算

8,010 千円

生涯学習推進計画に掲げる本市の目指す将来像「学び つながり ささえあうまち ～文教住宅都市 にしのみや～」の実現に向け必要な施策を展開する。

具体的には、各施策分野において実施されている生涯学習事業について部局間のコーディネートをを行い、実施事業や施設を紹介するパンフレットの発行を行うなどにより生涯学習推進の実効性を高める。また各公民館に貸出し用のWi-Fiルーターを整備し学習や地域活動に活用してもらうなど、学びと活動の好循環を促進する。さらに公民館地域づくりワークショップを引き続き開催し、多様な主体がつながりを深め、楽しみながら主体的に地域課題解決に取り組むための話合いの場づくりを進めていく。



公民館地域づくりワークショップ チラシ

■ 西宮市立図書館パワーアップ事業

継続

R4予算

146,630 千円

第5次総合計画・生涯学習推進計画・図書館事業計画に基づき、文教住宅都市にふさわしい情報拠点として、市民の多様な要求に応えられる蔵書をそろえ、年齢やライフスタイルの違い、障害の有無にかかわらず、誰もが利用できるサービスや読書環境の充実を図る。

また、司書の専門性を活かした調査・相談サービスや行政支援・連携の充実を目指し、図書館運営の更なる効率化に取り組む。

令和4年度：図書資料の充実、音楽ストリーミングサービスによる視聴覚資料の提供、読書振興等に関する共同研究の一環として絵本プレゼント事業（企業版ふるさと納税活用事業）の実施

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》
 ・北部図書館及び分室管理運営等業務委託料 / 332,114千円 / R5-R7



共同研究事業（AI絵本検索システム「びたりえ」）

4. 都市の魅力・産業

■ 大谷記念美術館管理運営補助事業

拡 充

R 4 予算

140,000 千円

大谷記念美術館は、イタリア・ポーロニャ国際絵本原画展を始めとした意欲的で評価の高い企画展と、四季折々の花に彩られた庭園を持つ閑静なたたずまいで親しまれており、本市の文化芸術の振興にとって欠かせない重要な文化資源となっている。

本事業では、市民文化の向上に資する施設としてその運営について補助を行っている。

令和4年度は、開館50周年を迎えることから、周年事業の開催に伴い、補助額を増額する。



開館当時の大谷記念美術館

■ アスリート先生派遣事業

拡 充

R 4 予算

3,084 千円

西宮市立学校園を対象として、西宮にゆかりのあるトップアスリートの方を授業や部活動に講師として派遣し、運動・スポーツの実演・指導等を通じて身体を動かすことの楽しさや素晴らしさなどを子供たちに伝えていくとともに、体力向上を図っていく。

また、本事業により、子供のスポーツに対する意欲向上や教員の指導法の改善につなげていく。



授業の様子

4. 都市の魅力・産業

■ 西宮市起業家支援センター運営補助事業

新規

R4 予算

12,100 千円

令和4年度から西宮商工会館内に開設されるにしのみや起業家支援センターの運営に係る経費の一部を西宮商工会議所に補助する。

にしのみや起業家支援センターでは、コーディネーターを配置し、税理士や中小企業診断士等による相談窓口を設置する。また、起業前から起業後までの伴走型支援を行い、新たな産業の担い手を創出する拠点とする。



5. 環境・都市基盤、安全・安心

■ 地球温暖化対策事業

拡充

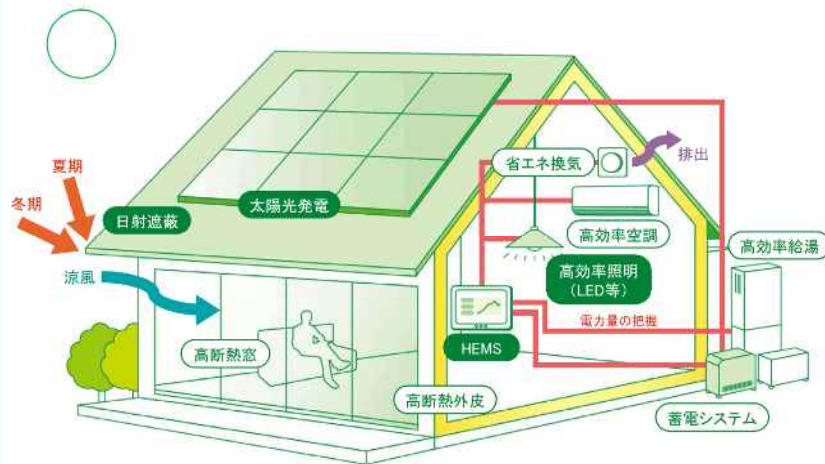
R4 予算

37,968 千円

大規模な自然災害が多発するなど国内外で地球温暖化への危機感が高まる中、実効性のある取組が必要となっている。

本事業では、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の要件を満たす戸建住宅の新築・改修や戸建住宅の断熱リフォームに対する補助事業、太陽光発電・蓄電システムの市民共同購入支援事業のほか、家庭での省エネ行動や省エネ家電の買替えを促進する省エネチャレンジ事業を実施する。

また、今後の地球温暖化対策を推進する上で必要な市域の再エネ導入可能性調査及び公共施設の再エネ・省エネ導入調査を行う。



ZEHイメージ

■ 公共施設照明設備LED化事業

新規

R4 予算

675,973 千円

照明設備について、蛍光灯からLED照明に置き換えることによるエネルギー使用量の削減と、これに伴う二酸化炭素排出量及びコストの削減を図るため、全庁的な照明設備のLED化を計画的に進める。

・令和4年度：中学校15校、小学校3校、義務教育学校1校、市民ギャラリーのLED化工事

5. 環境・都市基盤、安全・安心

■ 東部総合処理センター破砕選別施設整備事業

継続

R 4 予算

15,351 千円

経年劣化した西部総合処理センター破砕選別施設の代替施設として、東部総合処理センター将来施設用地に、新たな破砕選別施設を建設する。新施設は令和 8 年度の稼働開始を目指す。

・令和 4 年度：事業者選定、契約

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

・東部総合処理センター破砕選別施設整備・運営事業 / 17,393,950千円 / R5-R27

■ 救急ワークステーション整備事業

継続

R 4 予算

5,019 千円

救急需要を的確に捉え、病院前救急救護体制の構築及び救急隊員に対する教育体制の強化による傷病者の救命率向上を図るため、兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院との統合再編に併せ、(仮称)西宮総合医療センター敷地内に消防局と医療機関の連携拠点となる救急ワークステーションを整備する。

・令和 4 年度：設計

■ 白水峡公園墓地建設事業

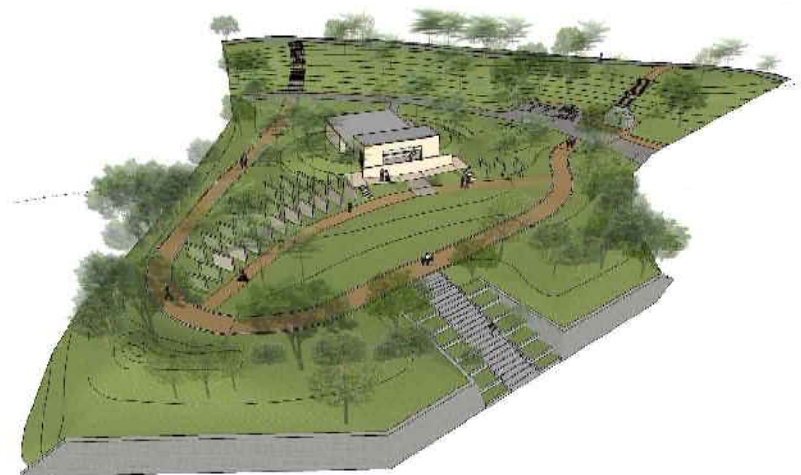
継続

R 4 予算

135,810 千円

市民に対し低廉で良質な墓地を安定的に供給するため、合葬式墓地の整備を行う。なお、合葬式墓地については令和 5 年度から公募開始予定としている。

・令和 4 年度：周辺造園工事



整備後の合葬式墓地イメージ

6. 政策推進

■ (仮称) 越木岩センター整備事業

継続

R4 予算

5,852 千円

越木岩公民館は地域団体や住民の学習活動に広く利用され地域にとって不可欠な拠点施設であるが築後45年が経過している未耐震施設であるため建替えを行い「人生100年時代の人・まちを見据えた交流拠点」として整備する。また、同じ敷地内にある図書館分室、消防団車庫を改築し一体的に整備することで土地の有効活用、施設管理の効率化を図る。

・令和4年度：地質調査、基本設計、実施設計

《 当該事業における新規債務負担行為の設定：事項 / 限度額 / 期間 》

・(仮称) 越木岩センター整備事業 / 75,790千円 / R5-R6



現在の越木岩センター

■ 未来づくりパートナー事業

拡充

R4 予算

4,700 千円

団体からの提案に基づき、提案団体と市が協働して事業を実施又は市が資金的なサポートを行う未来づくりパートナー事業について、従来の募集区分に加えて、「(仮称) コロナ課題解決型」を新設し、市民活動団体等がコロナ禍で生じた課題の解決を目的に企画・提案・実施する事業に対して市が資金的なサポートを行う。

※新型コロナウイルス感染症対策基金活用事業

■ 窓口等キャッシュレス化推進事業

拡充

R4 予算

1,434 千円

国を挙げてキャッシュレス化が推進される中、本市においても市民サービスの向上や、ICT化やデジタル化によって市役所の改革に取り組む「西宮市DX」の推進を目的に、窓口における証明書等の交付手数料についてキャッシュレス化を図る。

・令和4年度：税務管理課及び市民課においてキャッシュレス決済を導入